平成　　年　　月
株式会社　マイクロエース
製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

| | |
|---|---|
| A1870　京成3200形・更新車 試験塗装ブルー　4両セット | 予価:13,800円(税別)<br>JANｺｰﾄﾞ:116678 ｶｰﾄﾝ内入数:12 |
| A1876　京成3200形・更新車　6両セット | 予価:17,500円(税別)<br>JANｺｰﾄﾞ:116739 ｶｰﾄﾝ内入数:12 |
| A1878　北総鉄道7250形 8両セット | 予価:20,500円(税別)<br>JANｺｰﾄﾞ:116753 ｶｰﾄﾝ内入数:12 |

**商品形態**　Nゲージ塗装済完成品 （素材:ABS樹脂製　対象年齢:8歳以上　ブックケース入り）

**実車**

【A1870,A1876】
京成3200形は、1964年10月～1967年12月に88両が製造され、京成初の両開扉車として登場しました。1964年10～11月に製造された24両のうち3201～3220の20両は4両8台車がすべて電動台車でしたが、3221～3224は先頭車の運転台寄りの台車が主電動機のない付随台車となり主電動機の出力もアップされ、以降はこのタイプで落成しています。最終増備車の3291～3298の8両は、特急専用車1600形の代替用として製造されたためセミクロスシートで片開扉車として登場しています。1985年7月～1989年6月にかけて更新・冷房改造化が行わました。2003年3月以降、新3000形の登場により廃車が進行しております。
また1991年12月～1993年2月にかけて3205～3220の4編成が、通勤車の新塗装を決めるための特殊な塗装に変更され比較が行われました。

【A1878】
千葉ニュータウンの開発の一環として1972年に設立されたのが北総開発鉄道です。1979年3月に北初富～小室間が開業し、当時は新京成線松戸まで乗り入れていました。1991年3月に2期線新鎌ヶ谷～京成高砂間が開通して、京成線・都営浅草線・京急線への直通運転を開始し、翌年7月限りで新京成線への乗り入れは中止されました。2004年7月1日に社名が現在の「北総鉄道」に変更されました。7250形は2003年12月から元京成3200形8連のリースを受けして登場しました。7251～7254は元京成3233～3236、7255～7258号車は元京成3221～3224です。

**商品概要**

・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実。
・京成電鉄の主力通勤電車を待望のプラ製初製品化。
・二種類の台車(FS361・KS121)、床下電源装置ディテールの違い(MGとSIV)
　パンタグラフ数の違いなど、専用部品で実車に則して作り分け。
・フライホイール搭載の新型動力ユニットを採用。
・ヘッドライト、テールライト点灯。LED採用。ON-OFFスイッチ付き。
・黒染め車輪採用。

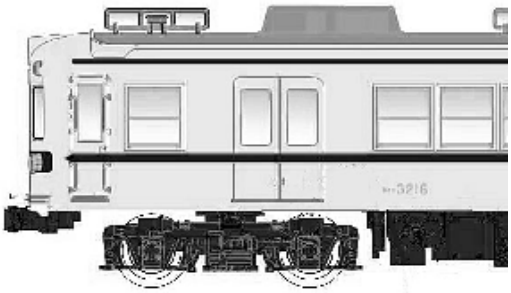
**A1870**

・4種ある試験塗装車のうち、車体色が水色で赤帯が入った3216編成を再現。
・Keisei 旧ロゴマーク印刷。
・3200形・1次車を製品化。
・編成

←京成上野・押上　京成金町・成田空港→

| モハ3216 | モハ3215 | モハ3214 | モハ3213 |
|---|---|---|---|
| ←ライト | | モーター | ライト→ |

**・京成電鉄株式会社申請中**



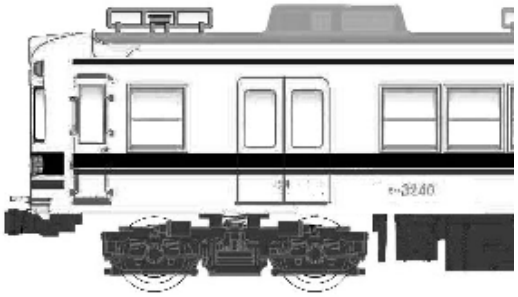
**A1876**

・グレー地に赤帯と青帯の現行塗装。
・モハ3239はダブルパンタ車、モハ3262はシングルパンタ車。
・Keisei Group 新ロゴマーク印刷。
・編成

←京成上野・押上　京成金町・成田空港→

| モハ3240 | モハ3239 | モハ3238 | モハ3237 | モハ3262 | モハ3261 |
|---|---|---|---|---|---|
| ←ライト | | | | モーター | ライト→ |

**・京成電鉄株式会社申請中**



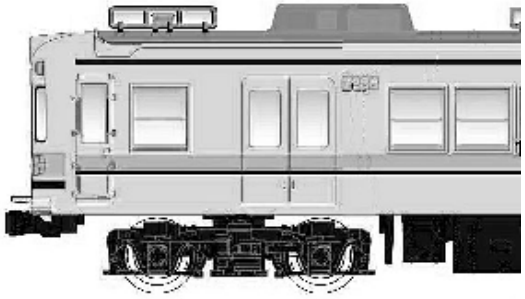
**A1878**

・北総鉄道にリースされた7250形を再現。
・グレー地に二本の青帯。
・SIVに改造された床下を再現。
・Keisei Group 新ロゴマーク及び北総鉄道ロゴを印刷。
・編成

←高砂・西馬込・羽田空港　印旛日本医大→

| 7258 | 7257 | 7256 | 7255 | 7254 | 7253 | 7252 | 7251 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ←ライト | | モーター | | | | | ライト→ |

**・北総鉄道株式会社申請中**



**付属品**　行先ステッカー1枚